

第6学年 総合的な学習授業実践

1 単元名「オリジナルドラマプロジェクト」

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性等
① ドラマづくりのために必要な情報を自分なりの方法で調べている。 ② 発信をするために、必要なツールを選択し、適切に使用することができている。	① 総合のゴールに向けた道筋を自分なりに考え、伝えることができる。 ② 課題解決のために集めた複数の情報を、比較したり、関連付けたりしながら分析し、実際に取り組む内容を具体的に考えている。 ③ 発信する相手や目的に応じて、ドラマの内容について考えを持ち、その考えを表出している。	① 友達と協働して、台本を考えたり、ドラマの撮影・編集をしたりしようとしている。 ② 自分たちが作ったものを発信する相手や目的を意識して、よりよいドラマにするために粘り強く取り組もうとしている。 ③ 探究の過程を振り返り、総合の学びの良さを再確認し、今後に生かそうとしている。

3 教材のとらえ

ドラマを作成するためには、登場人物やそのキャラクターを考えたり、台本を考えて覚えたり、背景や小道具を作ったりと、活動が多岐に渡る。必要な準備は何かや、それをどのような順番で行うかを考えるところに、まず探究的な活動を位置づけることができる。また、ドラマには「見る人」が存在する。そのため、自分たちが楽しいだけでなく、相手意識をもって作成に当たらなければならない。活動開始時に自分たちで決めた目標に何度も立ち戻り、直面した課題に対して話し合う場面で、「みんなで響き合ったり、高め合ったりする」姿を期待することができる。また、ドラマの作成にあたり、登場、撮影、編集、作成などのさまざまな役が必要である。どんな役割が必要なのかを考え、自分がやりたいことやできることを自己調整しながら常に考えさせるようにしたい。そうすることで、ドラマ完成時には、「みんなで作った」「オリジナルドラマができて嬉しい。」「みんなに見せたい。」という達成感と共に、次なる活動へとつなげることができるように働きかけていきたい。



6 本時の指導案

【本時の目標】

これまでにできたドラマを見て、「もっとこうしたい。」と思った内容について話し合い、解決策を見つけることができる。

【本時の学習】

学習活動	教師の支援
1 前時までの学びを振り返り、本時の学習問題を確認する。 ・できているところまでのドラマを見て、話し合って改善したいことを出し合ったよね。 ・どんな意見が出ているのかな。	○前時までに、できたところまでのドラマを見て、改善したいところを出させておく。その際、次の視点を確認する。 ① 見る人が「楽しめる」か。 ② ドラマを初めて見る人にとって、分かりやすい内容になっているか。
保護者や下級生がドラマを見たときに、分かりやすく、楽しい内容になるように改善しよう！	
2 どのような意見が出ているのかを確認する。 ① 最初のシーンが急に始まっていて、ドラマの設定が分かりにくいんじゃない？ ② 場面がシュールな感じだから、もっと実際にありそうな感じにしたい。 ③ 場面と場面のつながりは、どうやるの？ ④ 著作権問題をどうする？ 3 出た意見について、グループごとに考えをまとめる。 4 グループで出た意見を、発表する。 【① について】 ・はじめに、主人公の自己紹介を入れるといいと思いました。 ・設定の紹介をはじめにすると、見ている人もすんなりストーリーに入ることができると思います。 【② について】 ・背景を作ったらよいと思います。 ・編集の時に、画像をはめ込むことはできませんか？ 【③ について】 ・シーンが大きく変わるところには、音楽を入れたらいいと思います。 【④ について】 ・キャラクターが出てくるシーンだけ、取り直せばよいと思います。 ・取り直さなくても、声だけ取り直せば動画に当てることができるよ。 5 全体で話し合い、解決策を見出し、決定する。 ・学校名や主人公の名前などの設定は、歩いているシーンに声を追加して入れよう。 ・編集の人は、画像をはめ込むことができるか試してみよう。 ・シーンが大きく変わるところに音楽を入れる方法に賛成。 ・著作権に関わる台詞のところは、録り直そう。 6 学習を振り返り、次時以降の見通しをもつ。	○前時にでた意見の中から、全体で話し合った方が良さそうなものを、選んでおく。 ○全体に広げるまでもない細かい改善点については、関係する児童に個人的に伝える。 ○自分の意見を出しやすいように、まずは少人数のグループで話し合わせる。 ○どの意見に対しての考えなのかが分かるように、グループの意見をまとめる用紙を用意する。 ○グループから出た意見を、分類・整理しながら板書をし、全体の話し合いの場で活用することができるようにする。 ○グループから出た意見をもとに、よりよいドラマにするためにはどのような方法が最善かを考えさせる。 ○相手（見る人）意識を持った発言を価値づけし、そのような考えが広がるように働きかける。 ○必要な場面を見計らって、「楽しませたい」というはじめの思いを想起させ、そのための改善策となるように話し合わせる。
	【思考・判断・表現】 発信する相手や目的に応じて、できたところまでのドラマの改善策について考えを持ち、それを伝えることができる。 ○次の探究活動への思いを書かせ、意欲を引き出す。

